

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103946
法人名	(有)ベター・ライフU
事業所名	グループホーム四葉のクローバー
所在地	松山市石風呂町甲１０１４－１
自己評価作成日	平成26年6月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域に根付いたホームを目指しています。年々その活動も増えてきています。利用者様個人が持っている力を最大限に引き出し、ADL向上に向けた支援を行っています。入所時よりADLが向上された利用者が何名もいらっしゃいます。また、食べる事を大切にしており、日曜日の希望メニューや行事時の食事を楽しみにされています。食べる事の楽しみを感じて頂く様に計画して実践しています。また、季節感を大切にしており、目と肌で感じて頂ける様に外出行事にも工夫を行っています。医療体制も充実しており、提携先の医療機関や、それ以外に受診されている方も、その医療機関のドクター・看護師と相談しやすい環境を作っています。施設の看護師は勿論、グループ内の看護師とも密に連携をとって不測の事態に備えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●毎週日曜日の昼食は、利用者順番に希望を聞きながら献立を決めており、利用者はご自分の順番が来るのを楽しみにされている。午前のティータイム時には、コーヒー、ジュース、ココア等、数種類の中から利用者でご自分で好きな飲み物を選ぶことができるように支援されている。
●そうめん流しや花火大会等、行事ごとにはご家族と一緒に楽しめるよう案内しており、ご家族の方も準備等を手伝ってくださるようだ。年末にはクリスマス会と家族会を併せて行い、ご家族が利用者と一緒にクリスマスの装飾や写真立てを作って楽しめるよう企画された。又、ご家族だけで話し合う時間を設け、その後、職員が加わり意見等をうかがうようにされた。ご家族からは、転倒の心配や同性介助についての意見が出されたようだ。
●町内の高齢者が行方不明になった際には、ご家族から直接相談を受け、管理者は、ご家族に付き添って警察へ出向き、近隣の介護事業所にも応援要請し無事発見でき、事なきを得た事もあったようだ。

．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名

(有)ベターライフ・U

(ユニット名)

グループホーム四葉のクローバー

記入者(管理者)

氏 名

濱崎 秀巳

評価完了日

平成26 年 6 月 15 日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			スタッフは個々に理念カードを持っており、毎朝礼時に唱和 を行っている。実践に繋がられるように意識向上に努めている。	
			(外部評価)	
			「健康・愛情・幸福・希望」を事業所理念に掲げ、利用者、ご 家族、職員の安全・安心・安らぎのある生活を目指し、日々 取り組まれている。さらに、理念を具体的に実践できるよう、 事業所全体の目標や各ユニット・各職員毎にも、目標を毎年 決めて取り組まれている。目標は年度末に評価を行い、次 年度の目標設定につなげておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			年々地域との関わりが増えてきたと実感している。地域行事 に利用者と参加しており、すみれの団地の一員として夏の松 山サンバにも参加させて頂いている。日頃の挨拶などは大 切にしているが、地域の方から声を掛けて下さる事も多い。	
			(外部評価)	
			町内の清掃活動には、法人代表者と管理者が参加して地域 の方達と一緒に活動されている。小学校の授業の一環で年 4回、児童の訪問があり、利用者と一緒に歌や踊りを楽しん だり、マッサージ等をしてくれる。居間には、児童が描いた利 用者の似顔絵や手紙が飾ってあった。このような訪問がきつ かけとなり、数名の子どもが遊びに来てくれることもあるよう だ。秋祭りには、子供神輿や青年神輿、団地の神輿が順に 入り、水軍太鼓の披露もある。利用者は、神輿に手を合わせ たり、触れたりして涙する方もあるようだ。町内の高齢者が行 方不明になった際には、ご家族から直接相談を受け、管理 者は、ご家族に付き添って警察へ出向き、近隣の介護事業 所にも応援要請し無事発見でき、事なきを得た事もあったよ うだ。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議に参加して頂き、ホームの内情や、認知症に ついて話させて頂いている。また、地域住民の方が行方不 明になられたときに当事業所に助けを求められた事があつ た。地域に根ざしていると実感した。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し 合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活 かしている	(自己評価) 家族様や地域の方に参加して頂き、プロジェクターを使用し、画像や文章にて状況を報告させて頂いている。また、皆様から出た意見を報告書にまとめて、参加していないスタッフ全員が情報を共有して次に活かしている。	
			(外部評価) 会議には、地域行事等を通して、交流のある近所の方が、数名参加されている。ご家族には、各ユニット1名ずつ参加を依頼し、利用者と一緒に参加できるよう工夫されている。会議では、事業所の現状や空室状況、行事報告を行い、意見交換されている。年度初めには、年間行事計画について説明したり、時期によっては感染症、脱水症予防をテーマに注意を呼びかけている。又、職員研修の資料を配布して、認知症ケアの取組みについて発表したり、新人職員も参加して自己紹介された。管理者は今後もさらに、「参加者の本音を引き出し運営に反映して、事業所にできる社会的役割も果たしていきたい」と話しておられた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 施設長・管理者を中心に連携されている。また、行事にも参加して頂けるようにお声を掛けさせて頂いている。	
			(外部評価) 公民館で行う地域包括支援センター主催の認知症の講演会時には、事業所から薬品会社を紹介したり、認知症治療薬についての情報提供や資料作りにもかわり協力された。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会・ミーティング時にきちんと話し合いを行い、身体拘束について理解出来ている。また、玄関は夜間以外は施錠は行っておらず開放的に過ごして頂ける様にしている。	
			(外部評価) 毎年、系列事業所と合同で、利用者が行方不明になったことを想定して搜索訓練を実施されている。今年6月の訓練は、予告せず実施された。その結果、発見までに数十分かかり、利用者の居場所確認や見守り体制を課題として挙げて、今後の対策について話し合われた。管理者は、利用者の搜索ファイルを「第三者でも分かりやすい内容にまとめた」と話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会・ミーティング時にきちんと話し合いを行っている。行為に近いときには、上司にすぐ相談出来やすい環境になっている。スタッフ間でも見過ごされないように注意し合い虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会で学んでいるが、当施設の利用者様で該当される方がおられないので活用出来ていない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長・管理者が行っている。理解されて入居されても、初めて施設を利用される方の中には、環境に戸惑うかたも少なくない。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族様の意見や要望・不満などは真摯に受け止めて、日々のケアに活かすようにしている。面会時に何気ない一言を聞き漏らさないようにしている。 (外部評価) 3ヶ月毎にユニット別に便りを作成してご家族にも送付しており、行事・外出の様子や社内研修・スタッフ紹介等を載せておられる。又、毎月、利用者個々の担当職員が、個別に身体状況やエピソード等を一筆箋に手書してご家族への書類に同封されている。そうめん流しや花火大会等、行事ごとにはご家族も一緒に楽しめるよう案内しており、ご家族の方も準備等を手伝ってくださるようだ。年末にはクリスマス会と家族会を併せて行い、ご家族が利用者と一緒にクリスマスの装飾や写真立てを作って楽しめるよう企画された。又、ご家族だけで話し合う時間を設け、その後、職員が加わり意見等をうかがうようにされた。ご家族からは、転倒の心配や同性介助についての意見が出されたようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を月次で聞く機会を設けている。反映出来ている事項と出来ない事項がある。	
			(外部評価) 今年度は、法人全体の取り組みとして、職員を新人、中堅、管理者・リーダーに区分し、年間を通じて毎月、勉強会を実施された。新人職員の勉強会では、介護に関するだけでなく、社会人としての心構えについてもカリキュラムに組み込み、「皆で一緒に仕事をするために必要なこと」等についても学ばれた。新人職員からは、「利用者の気持ちの理解が深まった」等の感想もあったようだ。又、地域包括支援センターが主催する新人職員の勉強会では参加者同士で思いを共有することもできて、リフレッシュにもなっているようだ。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 給料等・会社の就業規則で決められている。時間内に業務が終わらない場合もあるので、もう少し業務内容を改善していく必要がある。希望休はほぼ取得できている。向上心が持てるようにメンタルヘルスケアの取り組みも行っていきたい。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部研修はスタッフの経験に合わせて年間を通じて行っている。外部の研修にも積極的に参加していたが、今は人員の問題もあり、参加は難しい状況であるが、早急に取り組める体制にしたい。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 職員は内部研修時、3施設の職員が集まり意見交換が出来る。外部研修に参加した際には積極的に交流をしている。管理者は地域のGH連絡会、GH協会等に積極的に参加している。	
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居される以前にアセスメントを行って情報を収集している。本人の要望をきちんと伺っている。入居された時には、担当スタッフが随時同行し、円滑な関係づくりが出来る様に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前にアセスメントを行い、本人様・家族様の意見や要望を伺っている。当初伺っている状態と違うとこがあり戸惑うときもある。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居前にしっかりしたアセスメントを作成出来る様、本人や家族と時間を設けて話し合うようにしている。また、利用者毎に担当スタッフがあり、担当者が中心となり多様な角度から本人様の意見をくみ取り、ミーティングなどで話し合いの場を設けている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 個々に出来る事を見極めてお手伝いをして頂いている。介護される一方的な立場にならない様に支援を行い、無理のない範囲でお手伝いして頂いている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時に最近のご様子を報告させて頂いている。また、行事・直近のご様子など月末にハガキを送付し、本人様と家族様との架け橋の役割を行っている。ケアプラン更新時にはご要望を伺い共に支えて行ける環境づくりを努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族様の要望で、知人の面会はない方も居られるが、連休時には家族様の面会が多くみられる。キリスト教の信者様がおいでたときには、歌等唄って頂け本人様以外の方も楽しんでいた。 (外部評価) 利用者のご家族や知人に年賀状や暑中見舞いを出せるよう、職員は一緒にハガキを買いに行ったり、又、関係を続けられるよう、ご本人が書いた後に事業所の住所を書き添えて投函する等して支援されている。知人の来訪時には、職員はお茶を出して居室でゆっくり過ごせるよう気を配っておられる。時には、利用者とタンスの整理をしてくれて、必要な物があれば次回に買ってきてくださる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 9名様共、プライドをしっかり持たれている。精神疾患のかたも多くおられ個別対応を大切にしている。仲の良い利用者様同士でソファで談笑されたりと関わりが持てている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後は、施設長・管理者と連携がとれている。月末ハガキを退所された後も送らせて頂いている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 全ての希望には添えないが、できる限り希望に添えられるように支援している。何気ない一言も聞き漏らさず記録に残し、今後の支援に反映出来る様にしている。 (外部評価) 日々の介護記録に、趣味、楽しみ、ご家族への思い等も書き込むようにして、個々の意向の把握につなげておられる。職員は、利用者一人ひとりが、夢中になれることや得意なことを探りながら、役割を見つけて支援されている。園芸が得意な方は、朝夕に野菜や花の水やりができるよう支援しており、整理することが心の落ち着きにつながる方は、衣類の整理や洗濯たみができるよう支援されている。お孫さんに会える日を楽しみにして、塗り絵や貼り絵の作品作りに励んだり、お菓子を買に行き行って用意する方もあり、それぞれの思いを大切に支援されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前アセスメントを読み込み生活歴・病歴を把握している。また、日々のコミュニケーションを大切にしている。昔から使っている家具を持ち込まれている方もおられる。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人一人の状態を把握し、いつもと違うときには詳しく日誌に書いている。自由に過ごして頂ける様に環境整備にも努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			毎月モニタリングを行っている。ケアプラン作成時には家族様・本人様の要望を伺った意見をミーティング時に話合っている。また、入院や体調の変化に合わせてその都度ケアプランの見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			介護計画は、ご本人やご家族の希望をお聞きしながら、「前向きに努力できる目標」を見極め、利用者それぞれの担当職員が中心となって作成されている。モニタリングは毎月行い、カンファレンス時に皆で話し合っまとめておられる。計画の見直しは、基本的に3ヶ月毎に実施されている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			可能な限り対応しているが困難な時もあり、その場合は選択肢を用意し利用者様に選んで頂いている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地域の行事に参加させて頂いている。また、小学生との交流会やお祭り行事を楽しみにされている方もおられる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			今まで通りのかかりつけ医が基本である。些細なことでも指示を仰ぎ、適切な医療を受けられる体制を整えている。今年4月からホームドクターが毎日往診に来て頂いている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(外部評価)	
			協力医療機関の定期受診は職員が同行し、他の医療機関をかかりつけ医とする方の定期受診は、ご家族が同行するようになっている。体調変化時には、すべての利用者の方が協力医療機関で診てもらえるようになっており、又、毎年、定期健診を受けられるよう支援されている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	
			いつでもNSの指示が受けれる体制が出来ている。毎日のドクター往診時に、NSが事前に情報収集しているので、その時に相談している。4月から、週2回看護師が勤務しているので協働できている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			当施設では看取りの実績は無い。重度化した場合に備えて、特別養護老人ホーム等に申し込みを行って頂いているが、順番が回ってきても移れない方もいらっしゃる。関連に有料老人ホームがあるので、重度化した場合はそちらに移れることも随時相談している。	
33	12		(外部評価)	
			利用契約時、「事業所は医療機関の系列ではなく、看護師も1名しかいないため、重度化や医療行為が必要になった場合には、終末期の支援が行えない」ことについて説明されている。ご家族によっては介護施設を申し込んで順番がきたら入居する方もあるようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 毎月1回ミーティング時に勉強会を行っている。職員は応急手当や初期対応の実践できるように看護師の指導も受けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回防災訓練を行っている。毎回災害発生状況を変えて訓練を行い利用者様にも参加して頂いている。災害時の備蓄品(食料品・医薬品等)も準備している。運営推進会議で議案として取り上げ、地域との協力体制も築ける様に取り組んでいる。 (外部評価) 年2回、消防署の立ち会いのもと、夜間の火災を想定し、発煙も行い、避難訓練を実施されている。「予測不可能なことにも対応できるように」と、消防署からアドバイスがあり、避難訓練の内容を打ち合わせず実施された。災害に備え、水、食料品、避難用ロープ、照明器具、医療品等も備えており、定期的に消費期限を確認されている。津波の際には、事業所の屋上を一時避難場所としている。職員が地域の自主防災訓練に参加されている。	地域の方達と一緒に避難訓練を行う等の機会も作り、災害時に備えて地域との協力体制作りもすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人生の先輩として尊敬している。「様」で呼び名を統一し、言葉かけ全般を丁寧に行っている。まだまだ至らない点もあるので気をつけていきたいです。 (外部評価) 毎週日曜日の昼食は、利用者順番に希望を聞きながら献立を決めており、利用者のご自分の順番が来るのを楽しみにされている。午前のティータイム時には、コーヒー、ジュース、ココア等、数種類の中から利用者のご自分でお好きな飲み物を選ぶことができるように支援されている。職員は、利用者に何か行ってもらうような場合は、「お願いする」という気持ちで声をかけることに心がけておられる。お気に入りのお人形を布団に寝かせてお世話の方がおり、職員は、ご本人の子育てのお話にじっくり耳を傾けておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己決定出来る様に言葉かけを行っている。選択肢を提示し本人様の意見が聞けるように働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 決まりにとらわれずに、安全面を優先しその方の生活ペース を崩さないようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 洋服はご自分で選ばれている。季節に合っていないときには、 スタッフが声掛けを行い選択肢の中から選んで頂いている。 化粧を楽しんでいる方もいらっしゃる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日曜日の希望メニュー・行事や季節のメニューを楽しみにさ れている。また、ホームの畑にスタッフと一緒にいられ収穫を 楽しみにされている方もおられる。ホームに持って帰った野 菜を仕分けするのを楽しみにされている。感染が流行る頃は 出来ないが、出来るときには味見などして頂いている。 (外部評価) 食事は、昼・夕食分を週3回、業者からの配食を利用し、そ の他は、職員が献立を決めて手作りされている。調査訪問時 の昼食は、手作りの日で、法人の畑で収穫した野菜を使っ たインゲンの胡麻和えやきゅうりの漬物等も食卓に上ってい た。食事前には、口腔体操を行い、配膳後は、個々がお好 きなタイミングで食事を始めておられた。職員は、目の悪い 方には、献立や食材の説明をしながら介助し、手の不自由 な方には、軽めの食器を使用し、ご自分の力で食べられるよ う支援されていた。利用者は台拭きや下膳、時には、ゴボウ のさがき等の食材の下ごしらえをされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 週3回栄養士さんの考えたメニュー食材が配達で届いてい る。水分はきちんと取って頂ける様に声掛けし飲んで頂いて いる。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを実践している。ほとんどの方がご自分か らケアを行っておられる。また、見守りが必要な方にはスタッ フが付き添い介助している。毎週土曜日には夜間義歯洗浄 剤で入れ歯洗浄を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄チェックを行っているので、一人一人のタイミングに応じてトイレ誘導・パット交換を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			職員は、「朝食後に腰を浮かしていたらトイレのサイン」等、一人ひとりの表し方を把握し、タイミングを見ながらトイレに誘導して支援されている。職員は介助時には、目線を外して、ご自分でできることはなるべくご自身で行えるよう支援されている。トイレのドアの表示は、車いすの高さからも見やすい位置にあり、「使用中」「あき」の札が掛けられてあった。夜間、特に目が見えにくくなる利用者が安全にトイレを使用できるよう、居室からトイレまでの動線に2ヶ所、足元灯を点けている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入浴は不公平のないようにスタッフが順番を決めている状態である。入浴中は見守りを行い、その日の状態によって介助させて頂いている。その方のペースで入浴して頂いている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			午後からが入浴の時間となっており、利用者個々に週3回を目安に支援されている。入浴する曜日は個別に決めているが、一番風呂の希望が複数あり、職員は、重ならないよう曜日を替えて対応したり、それでも重なる場合は、ゆずり合えるよう説明等して納得いくような支援に努めておられる。居室の壁面に、「入浴する曜日と着替等の準備物」を大きく書いた紙を貼り、職員と確認しながら準備することが、気持ちのいい入浴につながっている方もある。季節毎に、菖蒲湯や柚子湯を楽しんだり、お気に入りの質感のボディタオルやご自分専用のシャンプーを使用する方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 新しく処方された薬・変更薬があった場合には、きちんと申し送りなど行いミスを防いでいる。新しい薬は副作用など調べて職員全員が状況共有できるように提示している。個々の薬がすぐに分かるように処方箋一覧を見やすい所に提示している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 毎日の散歩を楽しみにされている。レクで「色塗り・将棋・カラオケ等」行っている。スタッフのお手伝いを楽しみにされている方や、花の水やりが日課になっている方もおられる。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 個別に外出は出来ていないが、外出行事は月1回行っている。毎日の散歩や家族様との外出を楽しみにされている。スタッフとの買い物を楽しみにされている方もおられる。 (外部評価) 日常的に、事業所周辺を散歩できるよう支援しており、希望によって、日用品やおやつなどの買い物等、個別に出かけられるよう支援されている。毎月、計画を立てて全員で外出する機会も作っており、利用者の希望をお聞きしながら四季折々に花見、いちご狩りやぶどう狩り等に出かけ、お弁当やおやつを食べたり、外食することもあるようだ。恒例行事となっている釣り堀のできる「せせらぎ亭」への外出時には、釣った川魚を塩焼きやバター焼きの定食にしてもらい楽しまれたり、食後には周辺を散策される。又、興味のある方数名でキックボクシングの観戦に出かけたこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭トラブルにならないように、持ち込みをご遠慮して頂く場合がある。ご自分で身の回りの物を買われる方のみ(2名)現金を持っておられる。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご自分で携帯電話を持たれている方が一人だけおられる。その他の方は、要望があればホームの電話にて対応している。手紙に関してはほとんどの方はされていない状況である。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 食事・水補・おやつ時にはTVを消して、全員で会話を楽しめるように配慮している。多種の音源で不快や混乱を招かないように対応を行っている。悪臭・窓からの直射日光による高温に気をつけいる。季節毎の行事を大切にし、飾り物や花を飾って、目や肌で感じて頂けるように工夫を行っている。	
			(外部評価) 玄関前には、小学生がプランターにパンジーの苗を植えてくれており、定期的に手入れもして利用者を楽しませてくれている。玄関には、七夕の笹飾りをイメージしたスクリーンをかけおり、数日後には、利用者の願い事や俳句の短冊を吊るした笹飾りが飾られる予定のようだ。居間の壁面には、外出や行事の際の写真を多数飾っており、手作りカレンダーや今日の献立も掲示されていた。居間の窓からは、登下校する小学生や散歩やジョギングする人等、人の往来の様子が見え、話題にもなるようだ。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングやソファで思い思いに過ごされて居る。一人で過ごされる事が好きな方は、自室でゆっくりと過ごされている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 馴染みのある家具や家族の写真など持ち込まれて、居心地よく過ごして頂ける様に工夫を行っている。コルクボードに写真を貼られたり、タンスの上にはご自分のレクリエーションでの作品を飾られている。	
			(外部評価) 仏壇を持って来ている方は、ご自分で水を供えてお世話されている。テレビを置いて、ご自宅から持って来られた戦争に関する映像のDVDや、録画した高校野球の放送を見る方もおられる。思い出の写真やお孫さんが描いた絵を飾ったり、「フラワーセラピー」時につくったフラワーアレンジメントや、自作のちぎり絵、書き初めの作品を飾っている方もおられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各部屋のプライバシーを考慮しのれんを付けている。個々の状態により、のれん・ベット柵・居室のヒモの長さ・パイプハンガーなどの環境整備を行い、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。また、いろいろな所に手摺りが付いているので活用している。歩くスペースを広くとり転倒防止につながっている。	